

# 経営比較分析表

福岡県 新宮町

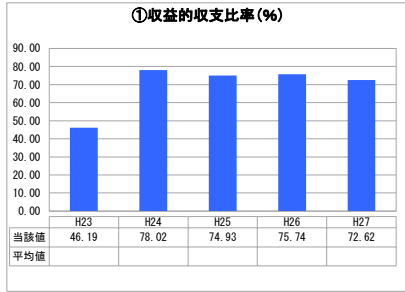
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.33	187.20	3,240

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,139	18.93	1,644.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
23,989	3.75	6,397.07

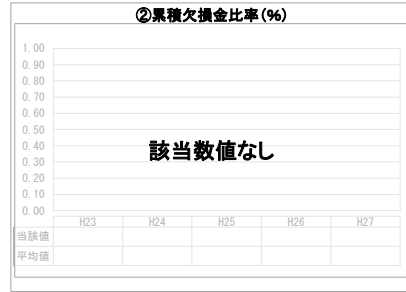
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



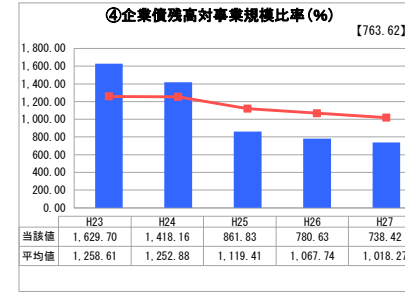
「単年度の収支」



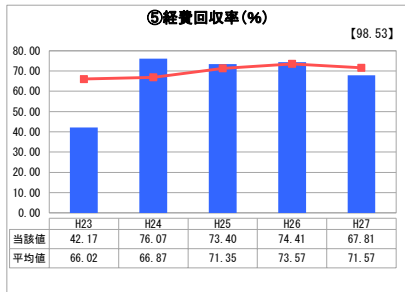
「累積欠損」



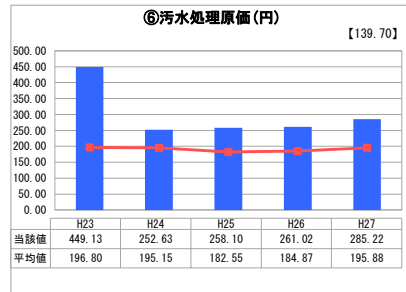
「支払能力」



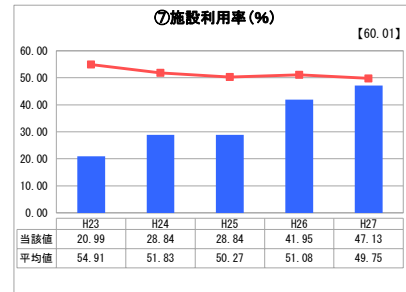
「債務残高」



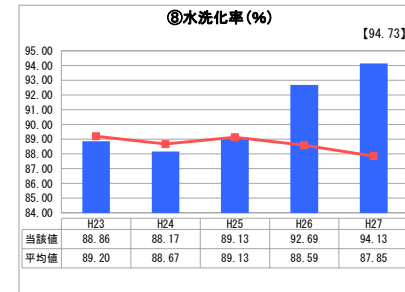
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

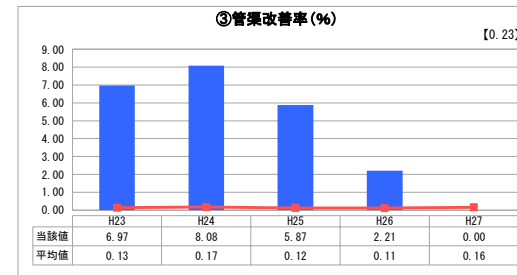
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は新宮処理区(平成2年度供用開始)、中央処理区(平成21年度供用開始)の二処理区での事業です。平成27年度の収益的収支比率が減少した要因は、汚水幹線整備を行いました。末端管渠の整備は次年度以降の事業となるため収益は前年と殆ど変わらず、整備に要する工事費がかかったためと考えられます。末端管渠整備及び個人の下水接続が進めば収益も増えると思われます。今後、流入量の増加に伴い処理場の増設が必要となるため増築費用が見込まれます。

### 2. 老朽化の状況について

施設全体の改築更新計画を策定し、適切な管理をしていきます。なお、新宮処理区は福岡市に汚水処理を委託しているため、資産債務の適切な管理や計画的な改築更新にかかる費用負担が生じます。

### 全体総括

平成28～29年度にストックマネジメントの策定、平成30年度に企業会計への移行となっているため、資産債務の適切な管理や計画的な改築更新による施設管理が可能となります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。